

## 方向性 1 地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

- 課題
- ・ 地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境整備
  - ・ 住民に身近な圏域において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備
  - ・ 多機関の協働による包括的な支援体制の整備
  - ・ 地域包括ケアシステムの深化

## 市民アンケート

問18	身近な地域の課題は、「[高齢者]介護者、介助者への情報提供などの支援」が33.3%と割合が最も高く、次いで「[障害者]介護者、介助者への情報提供などの支援」が22.9%となっています。
問30	地域のつながりが必要と感じる時はでは「災害が起こったとき」が82.3%と最も高い割合で、「地域で事件や事故が起こったとき」が43.3%となっています。
問35	今後朝霞市及び朝霞市社協で福祉のまちづくりを進めるために必要なことは、「保健・医療・福祉の連携」が21.7%と割合が最も高く、次いで「福祉関連事業所のつながり」が3.1%となっています。

## 若者アンケート

問11 問12 (2)	今後参加してみたい地域活動は、「障害のある人のための活動」が17.6%であり、朝霞市に期待することは、「障害がある人や高齢者に優しい」が7.3%、「良い地域制(人柄など)」9.2%となっています。
問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」が16.8%、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」が27.5%となっています。

## 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「高齢者の介護者、介助者への情報提供などの支援」が7.7%と割合が最も多く、次いで「障がいのある人の介護者、介助者への情報提供などの支援」が1.9%となっています。
問5	現在、情報交換の行ったり、連携している相手先では、「市役所」が71.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が52.9%で、「民生委員児童委員」が43.8%、「社会福祉協議会」が40.9%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項では、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、「地域住民の相談を包括的に受け止める場における支援体制の構築」が15.45%となっています。

## 団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
問1	活動を行う上での他の団体・機関等との交流や連携、協力関係は、「社会福祉協議会」が87.5%で最も割合が高く、次いで「市役所」が57.1%、「地域包括支援センター」が41.1%となっています。

## 地域懇談会アンケート

障害者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「障害のある人に対する地域の理解、交流の支援」が29.2%で最も割合が高く、次いで「障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が21.4%、「バリアフリー環境の整備」が15.5%となっています。
高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいがいづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。

## 基本目標 1 市民の暮らしを支える仕組みづくり

### 方向性 2 相談支援体制の充実

- 課題
- ・住民の身近な圏域において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備
  - ・多機関の協働による包括的な相談支援体制の構築（断らない相談支援）
  - ・特別な配慮が必要な子どもへの相談・支援体制の充実

※福祉相談課を新設し、高齢者の困りごと相談をはじめ生活困窮者等の相談に対応。

※児童相談は増加傾向にある。

#### 市民アンケート

問35	今後朝霞市及び朝霞市社協で福祉のまちづくりを進めるために必要なことは、「相談支援体制の整備」が24.5%と割合が最も高く、次いで「社会福祉施設での地域住民との交流」が7.8%、「心と体の健康づくり」が5.1%となっています。
問32	日常生活で困ったことがあった場合の相談先は、「家族・親族」が58.8%と割合が最も高く、次いで「市役所」が46.5%、「友人・知人」が39.6%となっています。

#### 若者アンケート

問11 問12 (2) 問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」が16.8%であり、今後参加してみたい地域活動は、「障害のある人のための活動」が17.6%であり、朝霞市に期待することは、「障害がある人や高齢者に優しい」が7.3%となっています。
--------------------------	---

#### 専門職アンケート

問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項では、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、「地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知」が24.5%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項では、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備」が16.3%となっています。

#### 団体アンケート

問4	団体の活動に必要な情報の入手先は、「知り合いを通して」が41.1%で最も割合が高く、次いで「社会福祉協議会の窓口」が26.8%、「他団体を通して」が26.8%となっています。
問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

障害者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「障害のある人に対する地域の理解、交流の支援」が29.2%で最も割合が高く、次いで「障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が21.4%、「バリアフリー環境の整備」が15.5%となっています。
高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立（孤独死）防止対策」が20.8%となっています。

基本目標 1 市民の暮らしを支える仕組みづくり

方向性 3 保健医療・社会福祉サービスの充実

- 課題
- ・ 介護予防や介護給付などの介護サービスの充実
  - ・ 介護人材の確保、資質の向上
  - ・ 高齢者や障害のある人への自立生活を支援するための福祉サービスの充実
  - ・ 健康づくり体制の整備
  - ・ 自殺予防対策に向けた連携、充実

市民アンケート

問10	生活に関連する項目の満足度(児童館、老人福祉センターなどの社会福祉施設)の満足とどちらかといえば満足を合わせ約62%となっています。
問18	身近な地域の課題は、「[障害者]バリアフリー環境の整備」が44.1%となっています。

若者アンケート

問11 問12 (2)	今後参加してみたい地域活動は、「障害のある人のための活動」が17.6%であり、朝霞市に期待することは、「障害がある人や高齢者に優しい」が7.3%、「良い地域制(人柄など)」9.2%となっています。
問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」が16.8%、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」が27.5%となっています。

専門職アンケート

問7	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項では、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が28.4%となっています。
問7	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項では、「社会福祉従事者の専門性の向上」が8.7%となっています。

団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
----	--

地域懇談会アンケート

--	--

## 基本目標 1 市民の暮らしを支える仕組みづくり

### 方向性 4 権利擁護の推進

- 課題
- ・ 権利擁護と尊厳の確保
  - ・ 成年後見制度の普及啓発
  - ・ 高齢者、障害のある人、子ども等への虐待防止対策

#### 市民アンケート

問18	身近な地域の課題は、「[障害者]障害のある人への虐待防止対策」が10.3%と割合が最も高く、次いで「[その他]自殺防止対策」が7.0%、「[その他]市民後見人の育成などの権利擁護への取り組み支援」が4.5%となっています。
問20	周辺で孤立や虐待などが起きるおそれがある状況を知った時の対応は、「市役所・児童相談所などの公的機関へ相談する」が36.6%と割合が最も高く、次いで「警察・交番に相談する」が28.8%、「近隣の人に相談する」が8.9%となっています。

#### 若者アンケート

問11 問12 (2)	今後参加してみたい地域活動は、「障害のある人のための活動」が17.6%であり、朝霞市に期待することは、「障害がある人や高齢者に優しい」が7.3%、「良い地域性(人柄など)」9.2%となっています。
問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」が16.8%、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」が27.5%となっています。

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「子どもへの虐待防止対策」が17.8%と割合が最も高く、次いで「高齢者への虐待防止対策」が3.4%、「障害のある人への虐待防止対策」が1.4%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「支援を必要とする者の早期把握」が21.6%となっています。

#### 団体アンケート

問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。
----	--

#### 地域懇談会アンケート

高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。
子ども分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「共働き家庭の子育て支援」が19.0%で最も割合が高く、次いで「子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策」が13.1%、「乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援」が10.7%となっています。

## 基本目標 1 市民の暮らしを支える仕組みづくり

### 方向性 5 生活困窮者等への支援の充実

- 課題
- ・生活困窮者等への支援の充実
  - ・ハローワークと連携した就労支援など自立に向けた支援の充実
  - ・生活保護制度の適正な運営
  - ・ひきこもりの方の支援

※生活困窮者自立支援法によるさまざまな支援を検討

※中高年のひきこもりの方の支援

#### 市民アンケート

問18	身近な地域の課題は、「[その他]生活困窮者への支援」が16.8%となっています。
問18	身近な地域の課題は、「[その他]仕事に就けない人への就労支援」が19.1%と割合が最も高く、次いで「[その他]生活困窮者への支援」が16.8%、「[その他]居住に課題を抱える人への支援」が6.3%となっています。

#### 若者アンケート

--	--

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題では、「子どもの貧困対策」が8.2%、「仕事に就けない人への就労支援」が2.4%、「生活困窮者への支援」が0.5%となっています。
問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備」が17.3%と割合が最も高く、次いで「福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり」が11.5%となっています。

#### 団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
問1	活動を行う上での他の団体・機関等との交流や連携、協力関係は、「社会福祉協議会」が87.5%で最も割合が高く、次いで「市役所」が57.1%、「地域包括支援センター」が41.1%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいがいづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。
子ども分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「共働き家庭の子育て支援」が19.0%で最も割合が高く、次いで「子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策」が13.1%、「乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援」が10.7%となっています。

## 基本目標 1 市民の暮らしを支える仕組みづくり

### 方向性 6 地域住民の交流の促進

- 課題
- ・ 地域住民の交流を促進するための仕組み
  - ・ 福祉サービスの情報提供
  - ・ 外国人市民が暮らしやすい環境整備、相互理解の促進

※町内会自治会への加入は減少傾向にある。

※外国人市民が増えている。

#### 市民アンケート

問13-1	近所との付き合いを深めるためのきっかけは、「気軽に集える場所」が33.1%と割合が最も高く、次いで「自治会・町内会・子ども会等」が32.2%、「地域の見守り、声掛け活動」が28.8%となっています。
問18	身近な地域の課題は、「[高齢者]孤立(孤独死)防止対策」が40.3%と割合が最も高く、次いで「[その他]地域で孤立している人への支援」が18.5%、「[その他]住民同士のつながりの欠如」が17.7%となっています。
問20	周辺で孤立や虐待などが起きるおそれがある状況を知った時の対応は、「市役所・児童相談所などの公的機関へ相談する」が36.6%と割合が最も高く、次いで「警察・交番に相談する」が28.8%、「近隣の人に相談する」が8.9%となっています。
問25	外国人市民にとって、暮らしやすい地域にするためには、どのようなことが必要かでは、「日本語習得支援」が48.2%と最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口の充実、地域との関りを、受け入れ体制の整備」が44.5%となっています。

#### 若者アンケート

問12(2)	今後参加してみたい地域活動は、「外国人との交流や国際協力のための活動」が23.3%と割合が最も高く、次いで「子どもたちの指導や世話」が20.2%、「地域の避難訓練や防災活動」が20.2%となっています。
問14	地域のまちづくりについて、積極的に参加や関りを持ちたいと思いますかでは、「思う」「少し思う」が42%となっています。
問14-1	そう思う理由は何ですかは、「朝霞市や地域を今より良くしたいから」が64.5%を占めています。

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「高齢者の介護者、介助者への情報提供などの支援」が7.7%と割合が最も多く、次いで「障がいのある人の介護者、介助者への情報提供などの支援」が1.9%、「外国人市民の地域での生活に対する支援」が1.4%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、次いで「地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援」が23.6%となっています。
問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「住民等の交流会」が20.7%と割合が最も高く、次いで「福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり」が11.5%、「勉強会等の開催」が8.7%となっています。

## 基本目標 1 市民の暮らしを支える仕組みづくり

### 方向性 6 地域住民の交流の促進

#### 団体アンケート

問6	地域の問題点や課題、「世代間の交流が少ない」が44.6%で最も割合が高く、次いで「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が39.3%、「隣近所との交流が少ない」、「大規模な風水害や地震時の避難と安否確認等、防災対策に不安がある」が26.8%となっています。
問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

子ども分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「共働き家庭の子育て支援」が19.0%で最も割合が高く、次いで「子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策」が13.1%、「乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援」が10.7%となっています。
問2、問4、問6以外で地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.4%となっています。
高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいがいづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。

## 基本目標 2 思いやりと支え合いの心づくり

### 方向性 7 地域福祉に関する理解と参加の促進

- 課題
- ・ 地域住民が交流できる祭りなどのイベント、体験活動、講演会の開催、情報発信、参加の促進（ボランティアの参加含めて）
  - ・ 地域における連携体制の支援

※民生委員児童委員に欠員が生じている。

#### 市民アンケート

問11-1	普段の近所付き合いは、「あいさつする程度であり近所付き合いはない」が55.0%と割合が最も高く、次いで「会えば立ち話をする」が24.7%、「日ごろから親しく付き合っている」が8.2%となっています。 近所付き合いをしていない理由は、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が54.6%と割合が最も高く、次いで「年齢や家族構成に共通するところがない」が23%、「近所付き合いはしたいが、きっかけがない」が21.4%となっています。
問13	近所との付き合いを深めるきっかけとして、どのようなものが必要かでは、「気軽に集える場所」が33.1%で最も高くなっています。
問22-1	ボランティア活動を始めに必要なのは、「自分に合った時間や活動内容であること」が62.5%と割合が最も高く、次いで「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が57.5%、「気軽にボランティア活動体験ができること」が56.5%となっています。

#### 若者アンケート

問12-1	地域活動の参加状況では、「地域のお祭りや伝統業に自ら関わる活動」27.1%で最も高い割合になっています。
問12-3	参加しなかった理由は、「どのような活動があるか知らない」が45%と割合が最も高く、次いで「忙しくて時間がない」、「参加するきっかけがない」が38.8%となっています。
問19	あなたが知っているものは何ですかでは、「民生員児童委員」は20.6%となっています。

#### 専門職アンケート

問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携」が19.2%と割合が最も高く、次いで「活動に必要な情報の入手」が17.8%、「活動に必要な知識」が8.2%となっています。
問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備」が17.3%と割合が最も高く、次いで「福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり」が11.5%、「保護司活動の充実に向けた環境整備」が3.4%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、次いで「地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援」が23.6%となっています。



## 基本目標 2 思いやりと支え合いの心づくり

### 方向性 7 地域福祉に関する理解と参加の促進

#### 団体アンケート

問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。
問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

問2、問4、問6以外で地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.5%となっています。
高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいのづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。

基本目標 2 思いやりと支え合いの心づくり

方向性 8 支え合い・助け合いの気持ちの醸成

- 課題
- ・高齢者、障害のある人、ひとり親家庭、外国人など、困っている人を支援していくための意識づくり
  - ・認知症対策などの講座や教室等の情報提供
  - ・学校における福祉教育及びボランティア体験活動

市民アンケート

問18	身近な地域の課題は、「[障害者]バリアフリー環境の整備」が44.1%と割合が最も高く、次いで「[障害者]障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が33.4%、「[障害者]障害のある人に対する地域の理解、交流の支援」が29.7%となっています。
問28	災害時に住民同士が協力し合うために必要なことは、「地域での定期的な防災訓練」が41.3%と割合が最も高く、次いで「地域での自主防災組織づくり」が38.8%、「福祉サービス事業者や行政との連携」が19.4%となっています。
問11	普段の近所付き合いは、「あいさつする程度であり近所付き合いはない」が55%と割合が最も高く、次いで「会えば立ち話をする」が24.7%、「日ごろから親しく付き合っている」が8.2%となっています。

若者アンケート

問11 問12 (2) 問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」が16.8%であり、今後参加してみたい地域活動は、「障害のある人のための活動」が17.6%であり、朝霞市に期待することは、「障害がある人や高齢者に優しい」が7.3%となっています。
問14	地域のまちづくりについて、積極的に参加や関わりを持ちたいと思いますかでは、「思う」「少し思う」が42%となっています。
問17	情報をどのように入手しているかは、「テレビ」が77.1%と割合が最も高く、次いで「インターネット」、「SNS」が74%となっています。

専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が11.1%と割合が最も高く、次いで「バリアフリー環境の整備」が7.7%、「障害のある人に対する地域の理解、交流の支援」が6.3%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「支援に関する協議及び検討の場」が4.8%と割合が最も高く、次いで「協働の中核を担う機能」が4.3%となっています。
問3	地域で気になる課題では、「住民同士のつながりの欠如」が6.3%となっています。

団体アンケート

問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。
問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。

地域懇談会アンケート

障害者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「障害のある人に対する地域の理解、交流の支援」が29.2%で最も割合が高く、次いで「障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が21.4%、「バリアフリー環境の整備」が15.5%となっています	
問2、問4、問6以外で地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.5%となっています。	

## 基本目標 2 思いやりと支え合いの心づくり

### 方向性 9 地域での見守りの充実

- 課題
- ・地域における見守り活動の連携体制の整備
  - ・見守りを充実する各種サービスの実施や情報発信

#### 市民アンケート

問16	民生委員児童委員の活動のうち、あなたはどのような活動を期待しますかでは、「地域住民の見守り」が40.3%で最も高くなっています。
問18	身近な地域の課題は、「[高齢者]孤立(孤独死)防止対策」が40.3%と割合が最も高く、次いで「[その他]地域で孤立している人への支援」が18.5%、「[その他]住民同士のつながりの欠如」が17.7%となっています。

#### 若者アンケート

問12 (2)	今後参加してみたい地域活動は、「外国人との交流や国際協力のための活動」が23.3%と割合が最も高く、次いで「子どもたちの指導や世話」が20.2%、「地域の避難訓練や防災活動」が20.2%となっています。
問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」が16.8%、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」が27.5%となっています。

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題では、「高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認ほか)」が20.73%と最も高く、「高齢者の孤立防止対策」12.5%、「地域で孤立している人への支援」が3.8%となっています。
問7	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「避難行動要支援者の把握及び日常的な見守り・支援の推進方策」が25%となっています。

#### 団体アンケート

問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。
問8	課題解決のために連携したい機関・団体は、「社会福祉協議会」が60.0%で最も割合が高く、次いで「市役所」が57.9%、「地域包括支援センター」が35.6%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいのづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。
問2、問4、問6以外で地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.5%となっています。

## 基本目標 2 思いやりと支え合いの心づくり

### 方向性 10 情報共有・発信の充実

#### 課題 ・ 地域住民や団体等における活動情報の共有や市民団体からの情報発信についての支援

##### 市民アンケート

問35	今後朝霞市及び朝霞市社協で福祉のまちづくりを進めるために必要なことは、「わかりやすい福祉情報の提供」が51.5%となっています。
問15	民生委員・児童委員の活動のうち、知っているものは、「民生委員・児童委員は知っているが、活動で知っているものは特にない」が33.8%と割合が最も高く、次いで「地域住民の見守り」が27.5%、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が24.4%となっています。
問31	朝霞市の福祉情報の入手先は、「朝霞市の広報紙『広報あさか』」が64.8%と割合が最も高く、次いで「朝霞市のホームページ」が37%、「社協の広報紙『社協あさか』」が28.1%となっています。
問18	身近な地域の課題は、「[その他]市民後見人の育成などの権利擁護への取り組み支援」が4.5%となっています。

##### 若者アンケート

問17	情報をどのように入手しているかは、「テレビ」が77.1%と割合が最も高く、次いで「インターネット」、「SNS」が74%となっています。
問18	利用しているSNSは何ですかでは、LINE94.3%、You Tube76.3%、Twitter74.0%となっています。

##### 専門職アンケート

問6	今後情報股間や連携を強めたい相手は、「市役所」が43.8%で最も高く、次いで「自治会・町内会」「地域包括支援センター」が32.7%となっています。
問7	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が28.4%となっています。
問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「活動に必要な情報の入手」が17.8%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「支援を必要とする者の早期把握」が21.6%となっています。

##### 団体アンケート

問4	団体の活動に必要な情報の入手先は、「知り合いを通して」が41.1%で最も割合が高く、次いで「社会福祉協議会の窓口」が26.8%、「他団体を通して」が26.8%となっています。
問8	課題解決のために連携したい機関・団体は、「社会福祉協議会」が60.0%で最も割合が高く、次いで「市役所」が57.9%、「地域包括支援センター」が35.6%となっています。
問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。

##### 地域懇談会アンケート

--	--

## 基本目標 2 思いやりと支え合いの心づくり

### 方向性 1 1 地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成

- 課題
- ・地域福祉活動に取り組む団体への支援（団体の活性化と人材の確保・育成）
  - ・地域ボランティアの育成と支援

※団体等の構成員の高齢化など後継問題がある。

#### 市民アンケート

問21-1	ボランティア活動に参加できない理由は、「仕事・アルバイトで忙しい」が46.9%と割合が最も高く、次いで「始めるきっかけがない(始め方が分からない)」が25.6%、「自分に合う活動が分からない」が19.9%となっています。
問22	あなたは今後ボランティア活動する機会があればやってみたいですかでは、「やってみたい」26.9%、「やってみたくない」11.9%、「どちらともいえない」50.2%となっています。
問22-1	ボランティア活動をやってみようと思った時、どのようなことが必要ですかでは、「自分に合った時間や活動内容である」62.5%で最も高く、次いで「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が57.5%、「気軽にボランティア活動体験ができること」が56.5%となっています。

#### 若者アンケート

問12 (2)	今後参加してみたい地域活動は、「外国人との交流や国際協力のための活動」が23.3%と割合が最も高く、次いで「子どもたちの指導や世話」が20.2%、「地域の避難訓練や防災活動」が20.2%となっています。
問12-2	朝霞市のどんなことを知りたいかは、「ボランティアの情報」が5.7%となっています。
問19	あなたが知っているものは何ですかでは、「ボランティアセンター」が24.8%で最も高かったです。

#### 専門職アンケート

問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携」が19.2%と割合が最も高く、次いで「活動に必要な情報の入手」が17.8%、「活動に必要な知識」が8.2%となっています。
問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備」が17.3%と割合が最も高く、次いで「福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり」が11.5%、「保護司活動の充実に向けた環境整備」が3.4%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、次いで「地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援」が23.6%となっています。

#### 団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
問4	団体の活動に必要な情報の入手先は、「知り合いを通して」が41.1%で最も割合が高く、次いで「社会福祉協議会の窓口」が26.8%、「他団体を通して」が26.8%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

高齢者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援」が30.4%で最も割合が高く、次いで「高齢者世帯の生活支援」が21.4%、「孤立(孤独死)防止対策」が20.8%となっています。
---

### 基本目標 3 安心で暮らしやすい地域づくり

#### 方向性 1 2 施設等の整備・充実

- 課題 ・ 高齢者や障害のある人等が利用しやすい施設の整備
- ・ 地域の拠点等になる施設の整備

#### 市民アンケート

問13	近所との付き合いを深めるきっかけとして、どのようなものがなかでは、「気軽に集える場所」が33.1%で最も高くなっています。
問18	身近な地域の課題は、「[障害者]バリアフリー環境の整備」が44.1%と割合が最も高くなっています。

#### 若者アンケート

--	--

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「バリアフリー環境の整備」が7.7%となっています。
問9	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が26.4%と割合が最も高く、次いで「地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援」が23.6%となっています。

#### 団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
----	--

#### 地域懇談会アンケート

障害者分野のうち、地域で優先的に解決しなければならない課題は、「障害のある人に対する地域の理解、交流の支援」が29.2%で最も割合が高く、次いで「障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が21.4%、「バリアフリー環境の整備」が15.5%となっています。	
問2、問4、問6以外で地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.5%となっています。	

## 基本目標 3 安心で暮らしやすい地域づくり

### 方向性 1 3 防災対策の充実

- 課題
- ・ 市民、行政、事業者との協働による防災活動の強化
  - ・ 自主防災活動の支援

#### 市民アンケート

問30	地域のつながりが必要と感じる時は、「災害が起こったとき」が82.3%と割合が最も高く、次いで「地域で事件や事故が起こったとき(防犯活動を行うとき)」が43.3%、「病気や怪我等緊急のとき」が27.6%となっています。
問28	災害時に住民同士が協力し合うために必要なことは、「地域での定期的な防災訓練」が41.3%と割合が最も高く、次いで「地域での自主防災組織づくり」が38.8%、「福祉サービス事業者や行政との連携」が19.4%となっています。
問26	防災に関連する各項目は、「身近な避難場所と行き方を知っていますか」で「はい」が72.4%、「災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか」で「はい」が41.2%となっています。一方で、「地域の自主防災組織に参加していますか」で「はい」が10%未満となっています。

#### 若者アンケート

問12 (2)	今後参加してみたい地域活動は、「地域の避難訓練や防災活動」が20.2%と割合が最も高く、次いで「地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動」が18.7%、「地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)」が17.6%となっています。
------------	---

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が15.9%となっています。
問7	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項は、「避難行動要支援者の把握及び日常的な見守り・支援の推進方策」が25%となっています。

#### 団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
問4	団体の活動に必要な情報の入手先は、「知り合いを通して」が41.1%で最も割合が高く、次いで「社会福祉協議会の窓口」が26.8%、「他団体を通して」が26.8%となっています。

#### 地域懇談会アンケート

問2、問4、問6以外	地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.5%となっています。
------------	--

### 基本目標3 安心して暮らしやすい地域づくり

#### 方向性14 防犯対策・更生保護の推進

- 課題
- ・地域の自主的な防犯活動の支援
  - ・非行防止活動の推進
  - ・子どものための安全安心な環境づくり
  - ・更生保護（再犯防止）の支援

#### 市民アンケート

問17	保護司の活動のうち、知っているものはありますかでは、「保護観察」36.4%で高く、「犯罪予防活動」が12.7%、「社会を明るくする運動」が3.9%となっています。
問20	周りで孤立や虐待などが起きるおそれがある状況を知った時の対応は、「市役所・児童相談所などの公的機関へ相談する」が36.6%と割合が最も高く、次いで「警察・交番に相談する」が28.8%、「近隣の人に相談する」が8.9%となっています。

#### 若者アンケート

問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかは、「だれもが安全・安心に暮らせるまち」が52.3%と割合が最も高くとなっています。
-----	---

#### 専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動」が1.9%、「過去に罪を犯した人への更生支援」が1.9%となっています。
問8	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項は、「民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備」が17.3%と割合が最も高く、次いで「福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり」が11.5%、「保護司活動の充実に向けた環境整備」が3.4%となっています。

#### 団体アンケート

問9	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべきことは、「支援関係機関間の連携」が23.2%で最も割合が高く、次いで「相談体制の確保」が21.4%、「福祉サービスの利用に関する情報提供」が19.6%となっています。
----	--

#### 地域懇談会アンケート

問2、問4、問6以外	地域で優先的に解決しなければならない課題は、「住民同士のつながりの欠如」が19.6%で最も割合が高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が16.7%、「地域で孤立している人への支援」が15.5%となっています。
------------	--



### 基本目標3 安心で暮らしやすい地域づくり

#### 方向性15 外出・移動の支援

- 課題
- ・地域公共交通のあり方
  - ・高齢者や障害のある人等への外出するための支援

#### 市民アンケート

問10 ⑨	通勤や通学などの交通の便の満足度では、「満足」18.7%、「どちらかといえば満足」43.4%となっています。
問23	どのようなボランティア活動をやりたいかでは、「買い物や病院等への車の送迎」が8.0%、「外出の付き添い」が6.3%となっています。

#### 若者アンケート

問11	朝霞市に期待することは、「交通の便のよさ」が19.8%と割合が最も高く、次いで「外部の都市への容易なアクセス」が12.6%となっています。
問13	朝霞市を将来どのようなまちにしていきたいかでは、「鉄道の駅・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち」が31.3%となっています。

#### 専門職アンケート

--	--

#### 団体アンケート

問8	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは、「日常生活に関する身近な相談窓口の設備」が55.4%で最も割合が高く、次いで「ネットワーク作り、見守り体制の整備」が53.6%、「支援が必要な人への支援」が51.8%となっています。
----	--

#### 地域懇談会アンケート

--	--

基本目標3 安心して暮らしやすい地域づくり

方向性16 住まいの確保等への支援

- 課題
- ・住宅確保要配慮者への支援
  - ・公営住宅の提供等

市民アンケート

問18	身近な地域の課題は、「[その他]居住に課題を抱える人への支援」が6.3%となっています。
-----	--

若者アンケート

--	--

専門職アンケート

問3	地域で気になる課題は、「居住に課題を抱える人への支援」が0.5%、「空き家の増加」が2.9%となっています。
----	--

団体アンケート

問1	包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべきことは、「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」が21.4%となっています。
----	---

地域懇談会アンケート

--	--